

パンタナル通信

南北米福地開発協会

会報

2011年2月1日

89号



中井さんの近況報告

遅くなりましたが新年明けましておめでとうございます。昨年暮れに佐野さんと一緒にレダに来ました。二〇一一年の初めをレダの皆さんとともに出発できました。

二日にはアスンシオンに帰る予定でしたが大雨のため出発できず、ようやく七日にミリタリーTAMの飛行機が飛ぶということでそれでアスンシオンに帰る予定であります。今日はレダモリリングを、アメリカの研究所に送るために中田先生が乾燥したモリリングの葉を粉末にしました。約10kgの粉末を作りました。抹茶に似たような感じでした。そく昼食時に青木先生が冷やした水に入れて飲んでいました。何か商品化できると良いのですが。

それと三日の昼食時にブラジル人三人が突然訪れてきました。彼らはパラグアイ川をはさんでレダの反対側に八千ヘクタールの土地を持っている人たちでした。私たちのことをいつも不思議に思っていて一度訪問してみようと思っていたそうです。

佐野さんとともに基地内を案内してDVDも見せました。一人は医者です。私たちのやっていることや理想をきいて感心していました。

ニームの木のことも知っていて帰りに三本持って帰りました。川を隔てた隣近所なのでこれからもコンタクトを持っていければと思います。

マンゴはいつも鳥対策で悩んでいるところですが、昨年は飯野先生や青年たちが試しにペットボトルを半分にしてかぶせてみました。

今のところペットボトルは鳥たちも歯が立たないようです。毎食卓にはここで取れたマンゴを食べています。

中井記



異常気象の頻発などにより人間社会へも影響が現れている。

(環境庁、stop the 温暖化 2008年より)

世界各地で異常気象が頻発している。

世界各地で、強い台風、ハリケーン・サイクロンや集中豪雨、干ばつ、熱波等の異常気象による災害が頻繁に発生しています。

アメリカでは、2005年に上陸したハリケーン「カトリーヌ」によって、1800名を超える死亡者、120万を超える避難民を出しました。ヨーロッパでは2003年8月の熱波によって2万人以上の死亡者を出し、オーストラリアでは、年や地域によって程度の差はありますが、6年以上も干ばつが続いています。2008年には、4月に発生したサイクロン「ナルギス」が大きな被害をもたらしました。

ミャンマーでは、少なくとも7万人以上の死亡者と5万人以上の行方不明者がいると報告されており、最終的に死亡者、行方不明者合わせて12－13万人に達する可能性があります。(2008年6月現在)異常気象の発生に温暖化が関与していることを断定することはできませんが、温暖化が進行することによって、このような異常気象の数が増加し、強さも増す可能性が指摘されています。

異常高温 (2003年8月)

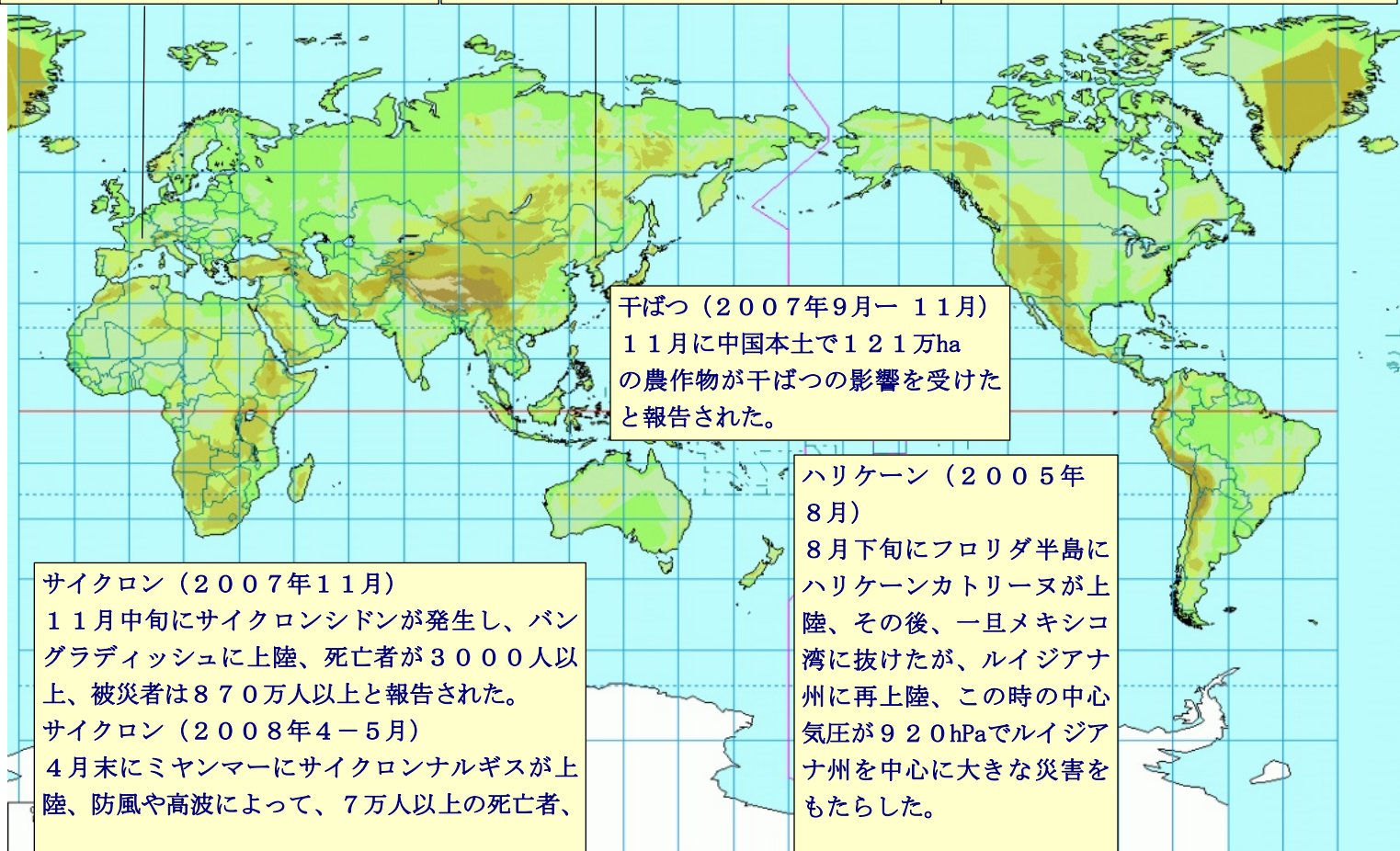
フランスなどを中心にヨーロッパで異常な高温となりフランスで14000人以上、イタリアで3000人以上、ポルトガルで2000人以上の死亡者

大雨、台風 (2007年8月)

中国南東部への台風の相次ぐ接近、上陸によって、朝鮮半島では600名以上、中国の華北や華南では100名以上の死亡者が報告

異常低温 (2007年1月－2月)

アメリカ各地で寒波が繰り返し生じ、関連する竜巻の発生と交通事故などによる死亡者は90人以上



温暖化によって森林火災が増加している。

アメリカ西部では大規模な森林火災が1980年代半ばから急増している事が、カクフォルニア大学等の研究によって報告されています。1980年代半ば以降、森林火災の頻度及び火災による焼失面積は、1970－1986年の平均と比べて、それぞれ約4倍、および6.5倍以上になっています。森林火災の増加には様々な原因が考えられていましたが、この研究では、最も増加している北部ロッキー山脈の森林火災は、春から夏の気象上昇と春の雪解けの早まりに強く関連している事が示されました。



12月18日、川崎テクノプラザにて 南北米福地開発協会責任者の集い



十二月十八日、会議報告

九州から高島さん、関西から中野さん、名古屋から東森さんも参加し、久しぶりの各地から集まった会議となりました。

会議は午前十時半からアメリカ在住の松田さんが編集しなおしたレダの歴史のDVDを始めに見ました。十周年の時の集会の様子も入り、以前のDVDに比べ最新版となっています。

DVDの映像を見た後、十一時から正式に会議が始まりました。午前中は飯野先生のレダの報告と飯野夫人がレダ滞在で感ずることを報告して下さりました。飯野先生のレダの現状の報告を聞き、現在、レダでの活動がどのように行われているのかがよく理解できました。飯野夫人の話しではレダの現状は余りにも人手が足りず、一人一人に掛けられた責任が多重にわたっていることに心が痛くなりました。

昼食後、戸石地球の緑を守る会事務局長によるパワーポイントを使った緑の会の年間報告と来年の目標の説明はよくまとまっており素晴らしい内容でした。また、緑の会も八年目を迎え、年々進展していることが分かり、今後も親密な協力関係を持つて行くことに希望を感じました。

今年は五つの団体がレダに森を作りましたので来年は四〇の団体が森作りに参加できるように募集を進めるとの報告がありました。高津理事長よりは全国に来年は五つに支部を結成できるよう、名古屋での支部造りの成功例の報告がありました。

各地の報告の後、事務局の柴沼事務局長が二〇一〇年度の支援の結果と会計報告をし、二〇一一年に向けての目標を伝えました。今年度の会員の皆様の努力に感謝し、会議を終わりました。

柴沼記



和田氏、林氏、東森氏



戸石氏、吉村氏、岩澤夫妻



十二月十九日、レダから一時帰国をしている飯野先生による報告とクリスマス会がありました。

午前中は飯野先生がレダの映像を交えながら今年、初めから多くの人の訪問があり、特にパラグアイの国の各界の有識者が関心を示してくれていること。また、チグレの映像やカピバラの映像を見ながら参加した方はレダは観光の王国になると実感しました。青年研修においてはレダにきた青年達を通して、学ぶことが多くあったとともに今後、青年達がレダに来る場合の基準も明確にする必要があるとの話しをされました。その後、飯野夫人が時間がなく短い時間でしたがレダの地は創造主が近く感ずる特別な地であると話されました。

第二部はクリスマス会で青年の西嶋君が司会を担当してくれました。先日のピースライフセミナーも司会を担当、クリスマス会も昨年に続き2回目であるので落ち着いて声もしっかり通り素晴らしく行ってくれました。一年の最後を南北米福地協会の一つの家族として集まり、楽しい時間となりました。

デコレーションは中村夫妻が何時も通り、素晴らしい出来栄でした。また、今回のクリスマス会の全体の責任を西木夫人がとってくれ、多くの夫人達が奉仕的に行ってくれ感謝でした。行事を行う度に最近は一人一人が自主的に責任を持って準備をしてくださるので充実した集会になりました。

先日、ピースライフセミナーに参加した青年、相馬君が自分の作詞、作曲の歌を2曲歌ってくれました。とても才能豊かな青年で今後の活躍が期待されます。第十回青年奉仕隊に参加した森川君がその時に作詞、作曲した歌を熱唱してくれました。彼も含め、五人の第十回青年奉仕隊のメンバーが参加していました。

最後にメインゲストのフラダンスが出てくるとその美しさに感動の拍手が湧きました。とくに子供達のかわいらしいフラダンスにはその場にいた参加者、全てが心を動かされました。

その後、キャンドルサービス、クリスマスプレゼントの交換があり、楽しく、感動的な集会になりました。準備してくれた皆様に感謝!!!

柴沼記

地球家族として

自然を守りましょう

南北米福地開発協会

会員の募集中

南米、パラグアイパンタナル地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて

生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを

訴えています。会費は月五〇〇円、毎月、パンタナル通信を送ります。

また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福地開発協会 事務局

〒二二一三〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三十一番十五

岩崎ビル四F

電話

〇四四一八二九一二八二二

Fax

八二九一二八二〇

会費納入

郵便口座

一〇一八

〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL

office@asd-nsa.jp

ホームページ

<http://www.asd-nsa.jp>